

公益社団法人日本技術士会水産部会

2025年度 活動報告・決算

2026年5月

公益社団法人日本技術士会水産部会

2025年度活動報告

1. 部会定例会の開催状況

定例会を奇数月に年6回、機械振興会館にてWeb併用により開催。常設委員会・実行委員会・理事会及び部会長報告を行うとともに、部会員活動の紹介及び要請等を行った。

5月10日(土) 定例会、総会、講演会、技術士第一次・第二次試験合格者ガイダンス

7月12日(土) 定例会、講演会

9月13日(土) 定例会、講演会

11月8日(土) 定例会、講演会、研究発表会

1月10日(土) 定例会、講演会

3月14日(土) 定例会、講演会

2. 講演会の開催状況

部会定例会に併せて6回の講演会(研究発表会基調講演を含む)をWeb配信併用で開催し、中国本部へもWeb配信を行った。7名の講師をお招きし、全参加者数は251名(昨年比11名増)であった。内訳は、会場参加者104名、Web個人参加者109名、中国本部参加者が38名で、今期は昨年ほぼ同程度の参加者であったがやや増加している。また、中国本部へのWeb配信も毎回継続して実施し、地方からの参加者増に貢献した。

2025年5月10日「日本の捕鯨の現状と流通について」

共同船舶株式会社 営業部 高野雄介 氏

2025年7月12日「水産白書について」

水産庁漁政部企画課 課長補佐 富樫 真志 氏

2025年9月13日「内水面漁業におけるカワウ食害と対策について」

国立研究開発法人 水産研究・教育機構 坪井 潤一 氏

2025年11月8日「ノルウェーサーモン養殖の経済学」

武蔵大学教授 阿部 景太 氏

2026年1月10日「技術士の普及啓発の取組み」

株式会社アルファ水工コンサルタンツ 綿貫 啓 氏

2026年3月14日「国内市場流通の制度改革と法改正三つの変化」

FDサプライ研究所 浅沼 進氏

「漁業法及び水産流通適正化法の一部改正について」

水産庁 漁政部 加工流通課 水産流通適正化推進室 長野 正嗣 氏

- ※ 講演会開催に当たって各副部会長を中心に企画・進行を行った。
- ※ 講演会の開催案内は部会員に対しては同報メールで、さらに水産部会HPに案内文書を掲載するとともにメールにて水産庁記者クラブ宛にお知らせを行った。
- ※ 講演を録画しPe-CPDシステム（CPD講演内容のHP視聴）で講演内容を掲載した。

3. 2025年度研究発表会の開催

2025年11月8日に研究発表会を下記のとおり開催し、研究発表は合計4題。武蔵大学教授 阿部 景太様をお招きし、基調講演をいただいた。

参加者は50名（会場21名、Web29名）

開催場所：機械振興会館 会議室6D-4（東京都港区芝公園3-5-8）

開催日時：2025年11月8日（土）13:00～17:00

(1) 基調講演 13:00～15:00

「ノルウェーサーモン養殖の経済学」

武蔵大学教授 阿部 景太

……………（休憩）……………

(2) 研究発表 15:10～17:00（4課題で2時間）

1) 15:00～15:30「日本人による「水産協力 中南米の事例（増養殖分野）」

濱満水産技術士事務所 濱満 靖

2) 15:30～16:00「水陸両用建機を用いた浅海域漁場造成とその後」

青木あすなろ建設株式会社 馬欠場 真樹

3) 16:00～16:30「北海道産マイワシの鮮度と生食用冷凍素材について」

網走水産試験場 守谷 圭介

4) 「漁業における漁獲量推定の改善と技術士の貢献について」

上野技術士事務所 上野 康弘

4. 見学会の開催

令和7年度水産部会・茨城県支部合同水産加工場・陸上養殖場見学会を下記のとおり開催した。

日時：令和7年8月9日（土）9:15～17:10

場所：株式会社紀文食品 東京工場（千葉県印旛郡栄町）

株式会社フジキン ライフサイエンス研究所（茨城県つくば市）

内容：成田駅（JR成田線、京成電鉄）及び安食駅（JR成田線）に集合し、マイクロバスにて2か所の工場を見学した。見学に際し、工場の担当の方から説明があり、質疑応答を行った。また、紀文工場では製品の試食、昼食は紫峰鮨にて、チョウザメの試食などを行った。

参加者：水産部会11名 茨城県支部8名



図1 見学会の状況

5. 技術士会における理事会・部会長・委員会

2025年度より丹羽真氏を理事に、各委員会には下記の委員で業務遂行し、定例会毎に委員会報告、理事会会議報告、部会長会議報告を行った。なお委員の任期は2年間で、来年度まで現体制で継続して実施していく予定である。

2025・2026年度技術士会常設委員会及び実行委員会名簿

委員会名	氏名
倫理委員会	村田 裕子
総務委員会	清水 孝
企画委員会	—
研修委員会	田角 由香
広報委員会	安藤 亘
社会委員会	小林 創
国際委員会	上野 康弘
CPD支援委員会	市川 正和
修習技術者支援委員会	—
青年技術士支援委員会	—
技術士活性化委員会	岩見 聡
防災支援委員会	二本柳 茂
科学技術振興支援委員会	高柳 和史
日韓技術士交流委員会	安藤 亘
海外活動支援委員会	松隈 裕之

2025・26年度技術士会個別委員会等名簿

委員会名	氏名
DEI委員会	岡野 利之
技術士制度検討委員会	—
技術士資格活用委員会	—

2025・2026年度水産部会役員名簿

役員名	氏名
部会長	清水 孝
副部会長	岡野 利之
副部会長	村田 裕子
副部会長	安藤 亘
副部会長	田角 由香
幹事	片山 博視
幹事	市川 正和
幹事	久下 善生
幹事	上野 康弘
幹事	高柳 和史
幹事	丹羽 真
幹事	岩見 聡
幹事	岡崎 敏樹
幹事	林 英一
幹事	新井 義昭
幹事	小林 創
幹事	松隈 裕之
幹事	二本柳 茂
会計監事	網田 健次郎

6. 水産庁との意見交換会の開催について

今年度は、令和7年12月9日（火）に開催し、水産部会のこの1年間の活動状況を説明し、技術士資格取得の奨励、技術士の資格活用拡大について意見交換をおこなった。また、上野幹事から「漁業における漁獲量推定の改善と技術士の貢献について」説明いただき、漁業現場での技術士の活用について提案した。

長野課長補佐からの提案として「漁業法及び水産流通適正化法の一部改正について」について説明いただき、水産部会定例会における講演についてもお願いした。

水産庁：岡本課長補佐、長野課長補佐

担当者：清水孝（部会長）、上野康弘（幹事）

7. 大日本水産会「水産界」、月刊技術士での情報発信

2020年10月からは大日本水産会「水産界」に技術士リレー執筆として技術士の活動状況を発信中、2025年度は、「資源管理技術の進展を願う」関根幹男氏、「水産加工の5S・HACCP」阿部 万寿雄氏、に2件の寄稿があり、掲載待ちである。

担当者：(主) 丹羽真

8. 技術士第二次試験講習会の開催について

マリノフォーラム21が主催する講習会への参加者募集に対して協力した。

担当者：(主) 井上清和

9. 水産分野におけるCPDの推進

毎回の定例会においてCPD行事として講演会を実施し、録音によっても配信した。

10. 関係団体・学協会との連携

1) 大日本水産会との連携

①ジャパン・インター・ナショナル・シーフードショー

8月20日(水)～8月22日(金)に一般社団法人大日本水産会が主催する第27回ジャパン・インター・ナショナル・シーフードショーにおいて水産部会のブースを設けて技術士無料相談ブースを開設した。相談員は延べ20名で、相談件数は21件であり、昨年より8件増加。来場者数は昨年より増加し27,932名(前回25,022名)、新型コロナ前の3万人までは回復しなかった。相談内容は、養殖時のろ過装置、各種原料のすり身製造、水産食品販売・開発、水産業界への融資、水処理装置、液肥製造時の魚臭対策など多岐にわたり相談を受け対応した。関連して日本技術士会水産部会主催のセミナーを2件開催し、9月の定例会に報告書を提出した。諸経費、交通費は対外活動推進費(技術士会)から支給した。

担当者：(主) 片山 博視、(副) 林 英一(幹事)

セミナー①：黒潮が誘起する海の変化～大蛇行で伊豆諸島の海はどう変わったか～
(飯島 純一：東京都島しょ農林水産総合センター大島事業所水産振興担当)

セミナー②：日本の水産業における食料安全保障と養殖業活性化へのチャレンジ
(竹下 朗：長崎大学海洋イノベーション機構)



図2 水産部会ブース



図3 部会主催のセミナー

2) 東京海洋大学

下記のとおり、日本技術士会水産部会・東京海洋大学技術士会 合同講演会を開催した

日時：令和7年7月5日 14:00～15:30

場所：東京海洋大学楽水会館 会議室

参加人数：45名

講演：演題「海洋の粒子汚染」 講師 東京海洋大学大学院 海洋科学技術研究科 教授
荒川 久幸 様

交流会

3) 国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産技術研究所との連携

水産利用関係研究開発推進会議及び研究会が11月18日（火）～19日（水）に国立研究開発法人水産研究・教育機構 横浜庁舎（水産資源研究所）管理棟3階（対面）で開催され、研究会（11月19・20）に事前登録した片山博視氏、阿部万寿雄氏が参加するとともに、他機関からの登録で村田裕子氏、岡野利之氏が参加した。21日の推進会議は対面に限られたため、不参加とした。

担当者：（主）片山 博視（幹事）、（副）村田裕子（副部会長）

4) 日本水産学会等の水産系学会

公益社団法人日本水産学会の水産教育推進委員会に委員として2名を登録。また「水産技術」誌監修委員会に片山博視氏、2月から上野康弘氏の各1名の委員を派遣した。

担当者：上野康弘、片山博視

5) 財団法人 農学会（J A B E E 関連）

2025年度J A B E Eについては新しく2名審査員をお願いし、オブザーバー参加した。コロナの影響により、現地確認がどうしても必要な事項に関し一部の審査員は現地に出向いたが、基本的にはWEBによるリモート審査を実施。

担当者：(主) 市川正和、(副) 上野康弘 (幹事)

1 1. 同報メールシステムの活用

引き続き水産部会定例会の開催案内、部会員の活動要請等を同報メールシステムで行った。

担当者：清水 孝 (部会長) 岡野利之 (副部会長)、田角由香 (副部会長)
村田裕子 (副部会長)、安藤亘 (副部会長)

1 2. 水産部会のホームページ

水産部会における定例会・講演会・祝賀会の開催案内、部会役員の紹介等を水産部会ホームページに掲載した。2017年度から Pe-CPD システム (CPD 講演内容の H P 視聴) で講演内容に掲載した。

担当者：(主) 岡野利之 (副部会長)、(副) 清水 孝 (部会長)

1 3. 講師謝金等の支払について

講演会の講師謝金を 3 万円 (会員外) 及び交通費を支給するとともに、支払い方法は技術士会総務部から講師宛に銀行振込を行った。講演会等に係る費用は、水産部会補助金である年間 24 万円に対応した。

1 4. その他

1) 日本技術士会々長表彰について

2025 年度は水産部会からは推薦なし。

2) 2025 年度対外機関等との連携に対する対応者一覧

2025 年度対外機関等との連携に対する対応者一覧表

対応機関等及び対応内容	主任対応者	副 任
水産庁 (水産庁との意見交換会)	(部会長) 清水孝	(幹事) 上野康弘
マリノフォーラム 21(技術士第 2 次試験講習会)	井上清和	—
大日本水産会 (シーフードショー)	(幹事) 片山博視	(部会長) 清水孝 (理事) 丹羽真 (幹事) 林英一
水産研究・教育機構水産技術研究所 (水産利用関係研究開発推進会議)	(幹事) 片山博視	(副部会長) 村田裕子
日本水産学会 (水産教育推進委員会)	(幹事) 上野康弘、	(幹事) 片山博視
農学会 (JABEE 関連、農学教育推進委員会)	(幹事) 市川正和	(部会長) 清水孝
月刊アクアネット「技術士通信」、大日本水産会「水産界」編集委員会	(理事) 丹羽 真	(4 副部会長)
水産部会のホームページ	(副部会長) 岡野利之	(部会長) 清水孝
水産部会 Web 配信担当	(幹事) 田角由香	(部会長) 清水孝 (理事) 丹羽真

15. 会計報告

決算書

収入の部

適要	25 予算額	決算額	備考
繰越金	665,912	665,912	
対外活動促進費			
講演会参加費	180,000	225,000	
5 月会場参加		20,000	
7 月会場参加		18,000	
9 月会場参加		14,000	
11 月会場参加		20,000	
1 月会場参加		15,000	
3 月会場参加		14,000	
5~9 月 Web 参加		70,000	
10~3 月 Web 参加		53,000	
個人で Web 参加		1,000	
懇親会参加費	45,000	110,000	
5 月懇親会		14,000	
9 月懇親会		20,000	
11 月懇親会		32,000	
1 月懇親会		22,000	
3 月懇親会		22,000	
見学会		29,000	
雑収入	120,000	152,000	
東京海洋大学講演会参加費		12,000	
WEB 配信奨励金		140,000	
	1,010,912	1,181,912	

支出の部

適要	予算額	決算額	備考
懇親会費等	225,000	299,000	
5 月懇親会費		68,288	
9 月懇親会費		42,920	
11 月懇親会費		68,288	
1 月懇親会費		64,020	
3 月懇親会費		55,484	
定例会役員交通費	170,000	271,168	役員定例会等交通費:141,048 円 ｼｰﾌｰﾄﾞ 講師交通費:130,120 円
見学会費		50,152	昼食代(19 名)・手土産代(工場関係者 へのお礼 2 件)
東京海洋大学室代		3,000	東京海洋大学と合同の講演会
会計監査	18,000		
手数料	5,000	4,510	インターネットバンキング手数料
雑費(白書送付代金)	6,000	7,740	ﾚﾀｰﾊﾟｯｸﾗｲﾄ 18 部×430 円
雑費(ｼｰﾌｰﾄﾞ ｼｮｰで資材貸与)		34,430	
予備費(繰越金)	586,912	511,912	
合計	1,010,912	1,181,912	

(参考) 4月決算残分

月	日	費目	出金	入金	差額
4	24	対外活動促進費		103,192	
4	21	残高証明書発行手数料	440		
4		会計監査	12,300		
			18,396	103,192	84,796

公益社団法人 日本技術士会 水産部会
監査報告書

監査の期日及び場所

期 日 令和 8 年 4 月 1 日 (水)

場 所 網田技術士事務所

監査対象となる期日及び書類

期 日 自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日

書 類 関係書類 (通帳出力 交通費明細 定例会明細 領収書等)

監査の結果

令和 8 年 3 月 31 日現在における収支並びに残高は関係書類と照合し、
正当と認めます。

上記のとおり報告します。

令和 8 年 4 月 1 日

公益社団法人 日本技術士会 水産部会

会計監事 網田健次郎 